衆議院議事錄

第四卷　第二十九

明治二十六年一月十四日(土曜日)

午後一時開場

出席政府委員

末松法制局長官	
田尻大藏次官	
兒玉陸軍次官	
清浦司法次官	
北垣北海道廳長官	
大森內務省縣治局長	

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　北海道施政ノ方針ニ關スル工藤行幹君外二名ノ質問ニ對シ井上內務大臣大山陸軍大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタ

リ

一　柴四朗君ヨリ紀州熊野沖遭難救助ニ關スル件、改野耕三君藤野政高君高瀬藤次郎君堀部彦次郎君丸山名政君波多野傳三郎君ヨリ岐阜縣震災費ニ關スル件ニ付政府ニ質問ヲ提出セラレタリ

一　山田東次君小笠原貞信君野出鍋三郎君ヨリ衆議院議員選擧法改正案ヲ、井上角五郎君ヨリ決鬪罪處斷方廢止法律案ヲ、加賀美嘉兵衛君足立孫六君今井磯一郎君內藤利八君後藤敬君鈴木麟三君橋本久太郎君加藤六藏君松島廉作君坂田丈平君福田久松君西毅一君片岡直溫君ヨリ風水災地方租稅特別處分法案ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

改野耕三君（二百四十三番）ハ其ノ政府ニ提出シタル岐阜縣震災費ニ關スル質問ノ趣旨ヲ演說ス

議長ハ議事日程ニ掲載シタル所得稅法中改正追加法律案（政府提出）

第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ所得稅法中改正追加法律案審査特別委員長佐野助作君ヨリ一時其ノ報告ヲ撤回スル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル酒造稅則附則中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

酒造稅則附則中改正法律案審査特別委員長鈴木昌司君（百五十四番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

井上角五郎君（七十八番）ハ原案ヲ贊成スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル酒精營業稅法案（政府提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

酒精營業稅法案審査特別委員長神鞭知常君（二百四番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

渡邊洪基君（七十八番）ハ原案ニ反對、田尻大藏次官ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

神鞭知常君（二百四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

引續キ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告シ第一條ヲ議題トナス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案

ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六條ノ次ニ一條ヲ加フル特別委員ノ修正案ニ付テハ之ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第八條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ第八條ニ付テハ條項ノ修正アルモ決議ノ結果ナルヲ以テ殊ニ之ヲ表決ニ付セス原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第九條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條第十一條第十二條ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第十條第十一條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十二條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十三條ヲ議題トナス

鈴木昌司君（百五十四番）ハ原案ヲ、田尻大藏次官ハ特別委員ノ修正案ヲ賛成スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ先ツ「此法律」ノ三字ヲ「本法」ノ二字ニ改ムル特別委員ノ修正案ニ付テハ之ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

「四」ノ字ヲ「七」ノ字ニ改ムル特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ標題ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第二讀會ハ玆ニ終結シタル旨ヲ宣告ス

天埜伊左衞門君（百三十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第三讀會ヲ省略スヘシ

可決

議長ハ本案ハ玆ニ確定シタル旨ヲ宣告ス

議長ハ登記法改正法律案第二讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第三條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第四條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

小西甚之助君（九十三番）ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

元田肇君（百四十一番）ハ其ノ提出ニ係ル修正案ノ趣旨ヲ辯明ス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

元田肇君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第五條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

佐々木正藏君（九十八番）ハ特別委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

元田肇君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ第七條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第八條第九條第十條ヲ聯貫シテ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ第八條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第九條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條ニ付左ノ表決ヲ取ル

元田肇君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ第十一條ヨリ第十五條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第十一條第十二條第十三條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十四條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十五條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十六條第十七條ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

元田肇君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ第十八條第十九條ヲ聯貫シテ議題トナス

小西甚之助君（九十三番）ハ第十八條ニ付左ノ修正動議ヲ提出ス

「監督官廳」ノ四字ヲ「管轄區裁判所」ノ六字ニ改ムヘシ

議長ハ第十八條ニ付左ノ表決ヲ取ル

小西甚之助君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第十九條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十一條ヨリ第三十一條マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十二條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十三條ヨリ第三十五條マテヲ聯貫シテ議題トナシ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十九條ヨリ第四十四條マテヲ聯貫シテ議題トナス」

議長ハ第三十九條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四十條第四十一條第四十二條第四十三條第四十四條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四十五條第四十六條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ第四十七條第四十八條ヲ聯貫シテ議題トナス

小西甚之助君九十三番 第四十八條ニ付左ノ修正動議ヲ提出ス

第三項中「本條ノ登記ニ關シ」ノ八字ヲ「本條ノ登記ニ關スル登記料ハ」ノ十三字ニ改ムヘシ

丸山名政君二百四番 小西甚之助君ノ修正動議ヲ賛成、田中鳥雄君二百五番 原案ヲ賛成スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ第四十七條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四十八條第一項第二項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四十八條第三項ニ付左ノ表決ヲ取ル

小西甚之助君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第四十八條第三項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四十九條第五十條ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ第四十九條ニ付左ノ表決ヲ取ル

元田肇君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第四十九條第一項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四十九條第二項ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五十條第一項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五十條第二項ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五十一條第五十二條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ本案ノ第二讀會ハ茲ニ終結シタル旨ヲ宣告ス

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ明後日ノ議事日程ニ掲載スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ時未タ定刻ニ至ラサルモ本日ハ茲ニ散會スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時三十分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第三十

明治二十六年一月十六日(月曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

內閣總理大臣臨時代理井上內務大臣

黑田遞信大臣

大山陸軍大臣

後藤農商務大臣

河野文部大臣

仁禮海軍大臣

渡邊大藏大臣

出席政府委員

渡邊內務次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　神鞭知常君ヨリ宮津港ニ浦鹽斯德港等貿易ニ關スル船舶ノ出入及貨物ノ積卸ヲ許スノ法律案ヲ提出セラレタリ

田尻大藏次官　五百八
兒玉陸軍次官
伊藤海軍次官
清浦司法次官
久保田文部次官
西村農商務次官
河津遞信次官
北垣北海道廳長官
野田陸軍監督長
奈良海軍主計大監

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ岡崎邦輔君ヨリ病氣ノ爲ニ週間、由雄與三平君ヨリ病氣ノ爲ニ週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

請願委員長高田早苗君ハ左ノ報告ヲナス

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スヘキモノト決議セリ

風景保護ノ請願　一通
國庫補助ノ農事試驗場ヲ府縣ニ設クルノ請願　一通
菓子稅廢止ノ請願　二十通

菓子稅則ヲ全廢シ菓子稅ヲ地方稅ニ編入ノ請願　四通
震災新規工事廢棄ノ請願　一通
震災罹災救助金下付ノ請願　一通
震災土木工事實地調査ノ請願　一通
土岐川河身改修工事差止ノ請願　二通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スヘキモノト決議ス但シ直ニ又ハ追テ特別委員ニ廻付スヘシト決議セリ

輸出稅全廢ノ請願　八通
車稅全廢ノ請願　三通
郡長公選警察自治ノ請願　一通
郡長公選ノ請願　十八通

和漢醫繼續ノ請願　三通
第一期鐵道中央線ノ比較線中御殿場線敷設ノ請願　三通
豐橋衞戍ヨリ中央線ニ聯結スル鐵道敷設ノ請願　六通
鐵道敷設工期ノ請願　十八通
岩越鐵道敷設ノ請願　一通
飛驒鐵道敷設ノ請願　一通
石見國鐵道敷設ノ請願　一通
私設播但鐵道ノ儀ニ付請願　一通
豫定鐵道線路敷設ノ儀ニ付請願　一通
四大川治水費ヲ國庫支辨ノ舊ニ復スル請願　二通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スヘキモノナルモ既ニ本院ニ於テ決議シタルニ依リ院議ニ付スルヲ要セスト決議セリ

地價修正ノ請願　二百四十九通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セサルモノト決議セリ

第四回内國勸業博覽會開設地ニ係ル請願　一通

第四回内國勸業博覽會開設ノ請願　一通

明治六年第八十二號公布第一項改正及第五項第十八項取消ノ請願　一通

檢地改良法地價制定法ノ請願　一通

酒造稅則改正ノ請願　一通

醬油稅率輕減竝自家用料醬油取締ノ請願　十七通

風水害ニ付國稅特別處分ノ請願　六通

非醫藥分業ノ請願　一通

殖民省設置ノ請願　一通

曆書調製ノ請願　一通

産馬事業保護ノ請願　一通

議長ハ本院ヨリ明治二十六年度豫算修正案中憲法第六十七條ノ歳出ニ對スル本院ノ決議ニ付政府ノ同意ヲ求メタルニ之ニ對シテ國務大臣ヨリ演說アル旨ヲ告ク

内閣總理大臣臨時代理井上内務大臣ハ憲法第六十七條ノ歳出ニ對スル本院ノ決議ニ同意セサル旨ヲ演說ス

河野廣中君二百十八番左ノ動議ヲ提出ス

議事日程ヲ變更シテ明治二十六年度豫算案ノ會議ヲ開クヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

河野廣中君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ明治二十六年度豫算案ノ會議ヲ開ク旨ヲ宣告ス

河野廣中君（二百十二番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本日政府カ豫算修正案中憲法第六十七條ニ關スル費額ニ對シ不同意ヲ表シタリト雖本院ハ本案ニ對シ別ニ再考ヲ要セス政府ニ向ヒ更ニ同意ヲ求ムヘシ

佐々木善右衛門君（二百八十一番）井上角五郎君（七十八番）ハ反對、尾崎行雄君（百五十二番）河島醇君（三十二番）島田三郎君（八十八番）ハ賛成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

河野廣中君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル新聞紙條例改正案（本院提出貴族院回付）ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告シ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

丸山名政君（二百七十四番）魚住逸治君（百六十二番）加藤平四郎君（二十八番）伊藤大八君（百三十九番）ハ反對、大岡育造君（八十四番）小西甚之助君（九十三番）ハ賛成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

貴族院ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ右決議ノ結果ニ依リ協議會ヲ開クコトヲ要スルヲ以テ先例ニ依リ委員十名ヲ選擧スヘキ旨ヲ告ケ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲナシ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スルニ異議ノ有無ヲ

諾フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル登記法改正法律案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ本案中從來ノ法律文ト同一ナラサル文字ノ修正ハ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第二讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ本案ハ茲ニ確定シタル旨ヲ宣告ス

議長ハ時未タ定刻ニ至ラサルモ本日ハ茲ニ散會スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時二十六分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第三十一

明治二十六年一月十七日(火曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

渡邊大藏大臣

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

一　所得稅法中改正追加案

右議院法第三十條ニ依リ撤回ス

明治二十六年一月十六日

內閣總理大臣臨時代理內務大臣伯爵井上　馨

大藏大臣渡邊國武

衆議院議長星　亨殿

一　政府ハ憲法第六十七條ノ歳出ニ關スル衆議院ノ要求ニ對シ不同意ヲ表シタルニ拘ラス今復タ政府ノ再考ヲ求メラレタルモ政府ハ斷シテ不同意ヲ表セサルヲ得ス

右及覆牒候也

明治二十六年一月十七日

内閣總理大臣臨時代理内務大臣伯爵井上　馨

衆議院議長星　亨殿

一　貴族院ニ於テハ本院傳達ニ係ル田畑地價特別修正法律案ヲ否決シタル旨貴族院ヨリ通牒アリタリ

一　豫戒令執行ニ關スル長谷場純孝君外三名ノ再質問ニ對シ井上内務大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　長谷川泰君島田三郎君大岡育造君古莊嘉門君柴四朗君鈴木重遠君鈴木萬次郎君高田早苗君ヨリ大日本私立衛生會設立傳染病研究所補助費ニ付建議案ヲ提出セラレタリ

一　昨日ノ決議ニ係ル新聞紙條例改正案協議委員ノ當選者ハ左ノ如シ

島田三郎君
加藤政之助君
尾崎行雄君
角田眞平君
伊東祐賢君
柴四朗君
大東義徹君
楠本正隆君

中野武營君
鈴木重遠君

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス
議長ハ川本達君ヨリ病氣ノ爲二週間、兒玉仲兒君ヨリ父病氣ノ爲三週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
河野廣中君（二百十ハ番）左ノ動議ヲ提出ス
明治二十六年度豫算案ニ關スル政府ノ覆牒ニ對スル議事ヲ開ク爲議事日程ヲ變更スヘシ
可決
河野廣中君（二百十ハ番）左ノ動議ヲ提出ス
明治二十六年度豫算案ニ就キ本院カ諸般ノ費目ニ修正ヲ加ヘタルハ現在我國ノ民度ヲ斟酌シ輿論ヲ代表シタル正當ノ所爲ナリト確信ス政府若シ之ニ同意セサルトキハ立憲政體ノ本旨ニ基キ斷然處決スル所ナカルヘカラス因テ本院ハ豫算修正案ヲ政府ニ送致シ本日ヨリ五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ツ
渡邊洪基君（七十番）井上角五郎君（七十八番）反對、尾崎行雄君（百五十二番）神鞭知常君（二百四番）角田眞平君（百七十五番）三崎龜之助君（百十八番）贊成ノ演說ヲナス
渡邊大藏大臣ハ河野廣中君ノ動議ニ對シ政府ノ意見ヲ演說ス」
島田三郎君（八番）ハ河野廣中君ノ動議ヲ贊成スルノ演說ヲナス
野出鍋三郎君（二百九十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス
討論ヲ終局スヘシ
可決

議長ハ加賀美嘉兵衛君二百九十一番ヨリ衆議院規則第百二十七條ニ依リ記名投票ヲ以テ表決ヲ爲スノ要求アリタルニ付記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ告ケ左ノ表決ヲ取ル

河野廣中君ノ動議ヲ採用スヘシ

出席總員　二百五十七名

可トスル者　百七十六名

否トスル者　八十名

可否ノ數ニ加ハラサル者　一名

可決

議長ハ只今ノ決議ニ依リ委員會ニ於テモ休會ヲナサシムルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　早川龍介君達谷窟信敬君吉岡倭文麿君大内貞太郎君加藤喜右衛門君郡保宗君ヨリ神祇官復興上奏案ヲ提出セラレタリ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後三時十六分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第三十二

明治二十六年一月二十三日(月曜日)

午後一時開場

出席政府委員

田尻大藏次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

憲法第六十七條ノ歳出ニ關シ政府ハ既ニ憲法ノ明許セル權能ニ依リ不同意ヲ表シタルニ拘ラス政府ノ再考ヲ請求セラレタルニ因リ政府ハ再應不同意ヲ表シタルニ今復五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ッヘシトノ決議通牒ニ接シタリ政府ハ憲法保障ノ歳出ニ付不同意ノ理由竝政府自ラ處置スルコトナキ理由ハ既ニ

之ヲ辯明シタル以上政府ノ意見ハ終始一貫更ニ異動ナキ事ヲ斷言ス

右及覆牒候也

明治二十六年一月十七日

内閣總理大臣臨時代理内務大臣伯爵井上　馨

衆議院議長星　亨殿

一　貴族院ヨリ左ノ通牒アリタリ

集會及政社法改正案

右貴院提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治二十六年一月十八日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

衆議院議長星　亨殿

一　岐阜縣備荒儲蓄金支拂ニ關スル丸山名政君外一名ノ質問ニ對シ井上内務大臣渡邊大藏大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　河野廣中君犬養毅君鈴木重遠君ヨリ上奏案ヲ、鈴木重遠君河島醇君鈴木萬次郎君安東九華君ヨリ鐵道敷設法改正追加案ヲ、森東一郎君加賀美嘉兵衞君角田眞平君ヨリ古物商取締條例中改正法律案ヲ、工藤卓爾君千葉胤昌君ヨリ産馬事業ニ關スル建議案ヲ、安部井磐根君片岡直温君藤澤幾之輔君佐々友房君若原觀瑞君ヨリ條約改正ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

一　大垣兵次君由雄與三平君ハ鈴木昌司君外七名ノ提出ニ係ル條約改正上奏案ノ贊成者タルヲ取消ス旨申出ラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ伊藤謙吉君ヨリ病氣ノ爲二週間、小林乾一郎君ヨリ病氣ノ爲三週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

河野廣中君（二百十二番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本員外二名ノ提出ニ係ル上奏案ノ議事ヲ開ク爲議事日程ヲ變更スヘシ

可決

議長ハ上奏案（河野廣中君外二名提出）ノ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ本案提出議員河野廣中君（二百十二番）ヨリ本案ニ付テノ正誤報告中政府ヨリ左ノ通牒アリタル旨ヲ告ケ書記官長ヲシテ之ヲ朗讀セシム時ニ午後一時四十五分ナリ

一　別紙詔勅及傳達候也

明治二十六年一月二十三日

内閣總理大臣臨時代理内務大臣伯爵井上　馨

衆議院議長星　亨殿

朕帝國憲法第七條ニ依リ一月二十三日ヨリ二月六日迄十五日間帝國議會ノ停會ヲ命ス

御名御璽

明治二十六年一月二十三日

内閣總理大臣臨時代理内務大臣伯爵井上　馨

司法大臣伯爵山縣有朋

遞信大臣伯爵黒田清隆

内務大臣伯爵井上　馨

陸軍大臣伯爵大山　巖

衆議院議事錄

第四卷　第三十三

農商務大臣伯爵後藤象二郎

外務大臣陸奥宗光

文部大臣河野敏鎌

海軍大臣子爵仁禮景範

大藏大臣渡邊國武

衆議院議事錄第四卷第三十三

明治二十六年二月七日(火曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

伊藤內閣總理大臣

山縣司法大臣

黑田遞信大臣

井上內務大臣

大山陸軍大臣

後藤農商務大臣

陸奥外務大臣

河野文部大臣

仁禮海軍大臣

渡邊大藏大臣

出席政府委員

林　外務次官

渡邊内務次官

田尻大藏次官

兒玉陸軍次官

伊藤海軍次官

清浦司法次官

久保田文部次官

西村農商務次官

河津遞信次官

北垣北海道廳長官

大森内務省縣治局長

古市内務省土木局長

野田陸軍監督長

奈良海軍主計大監

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　紀州熊野沖遭難救助ニ關スル柴四朗君外二名ノ質問ニ對シ仁禮海軍大臣ヨリ、朝鮮政府ヘ返金ノ件ニ關スル清水文二郎君ノ質問ニ對シ陸奥外務大臣渡邊大藏大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　貴族院ヨリ左ノ通牒アリタリ

度量衡法追加案

右貴院提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治二十六年二月七日

衆議院議長侯爵蜂須賀茂韶

貴族院議長星　亨殿

一　一月十六日波多野傳三郎君立石岐君ヨリ鐵道敷設法ニ關スル件ニ付政府ニ質問ヲ、田中正造君ヨリ石川縣人斬巡査在職不法ニ關スル件ニ付政府ニ再質問ヲ提出セヲレタリ

一　小笠原貞信君齋藤珪次君ヨリ鐵道敷設法改正案ヲ、早川龍介君ヨリ桑樹萎縮病及蠶病豫防試驗ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

一　大垣兵次君ヨリ西山志澄君ノ議員資格ニ關シ異議ノ申立アリタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ官城浩藏君ヨリ病氣ノ爲三週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル上奏案（河野廣中君外三名提出）ノ議事ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員河野廣中君二百十八番ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

伊藤內閣總理大臣ハ昨年十一月二十九日本院ヨリノ負傷慰問ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シ竝ニ本案ニ對シ反對ノ演說ヲナス

大岡育造君八十四番井上角五郎君七十八番ハ反對、大東義徹君二百五十一番犬養毅君二百二十七番ハ贊成ノ演說ヲナス

議長ハ時已ニ定刻ニ達セルモ尙ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

渡邊又三郎君八十八番ハ本案ニ反對スルノ演說ヲナス

渡部芳造君百三十一番ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託シ明八日午後一時マテニ審査ノ結果ヲ報告セシムヘシ其ノ選擧ハ議長ノ指名ニ依ルヘシ

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

渡部芳造君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

野出鎗三郎君（二百九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ野出鎗三郎君（二百九番）ヨリ衆議院規則第百二十七條ニ依リ記名投票ヲ以テ表決ヲ爲スノ要求アリタルニ付記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ告ケ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシ

出席總員　二百八十五名

可トスル者　百八十一名

否トスル者　百三名

可否ノ數ニ加ハラサル者　一名

可決

藤澤幾之輔君（百六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本員ノ提出ニ係ル決議案ノ議事ヲ開ク爲議事日程ヲ變更スヘシ

可決

議長ハ左ノ決議案（藤澤幾之輔君提出）ノ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

本日ノ決議ニ由リ議長參内上奏ヲ終ルマテハ本院ハ散意ヲ表スル爲メ議事ヲ休止シ議員ハ本院ヲ退カス靜肅ニ議長ノ報告ヲ俟ツヘシ

但議長ノ參內本院ノ定時間外ナルトキハ議長ハ特ニ議員ニ通知シ參院セシムル可キ事

本案提出議員藤澤幾之輔君（百六番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

河野廣中君（二百十二番）ハ本案ニ對シ左ノ修正案ヲ提出シ其ノ趣旨ヲ辯明ス

本院ハ上奏ニ對シ玆ニ恭敬ヲ表シ且ツ政府ヲシテ責任アル處決ヲ爲サシメンカ爲メニ本日ヨリ來ル二十五日マテ本院ノ休會ヲ決議ス

但シ本件ニ關シ開會ヲ要スルトキハ何時タリトモ議長ハ開會スルコトヲ得

黒田綱彦君（二百十四番）

元田肇君（百一番）

正案ニ反對、清水文二郎君（二百十六番）

坂本則美君（二百八番）

神鞭知常君（四十八番）

（二百四番ハ本案ニ贊成、立川雲平君（八百九番）ハ河野廣中君ノ修正案ニ贊成ノ演說ヲナス）

議長ハ議員中ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタル者アリタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ告ケ左ノ表決ヲ取ル

河野廣中君外二名ノ修正案ヲ採用スヘシ

出席總員　二百七十一名

可トスル者　百三十七名

否トスル者　百三十四名

可決

議長ハ散會ヲ命ス時ニ午後八時五十五分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　號外

衆議院議事錄第四卷號外

明治二十六年二月八日(水曜日)

是日午後二時議長參內シテ上奏書ヲ捧呈セシニ天皇陛下ヨリ左ノ勅語ヲ賜ハリタリ依テ議長ハ書記官長ヲシテ之ヲ各議員ニ通報セシメタリ

朕能ク熟覽シ置ク

衆議院議事錄

第四卷　第三十四

明治二十六年二月十日(金曜日)

午後三時四十五分開場

議長ハ本日午前宮內大臣ヨリ午後一時ヲ以テ出頭スヘキ旨通達アリタルヲ以テ同時刻ニ宮內省ニ至リタルニ同大臣ヨリ詔勅ノ傳達アリタリ依テ本日ハ過日本院ノ決議ニ係ル決議案ノ但書ニ依リ特ニ開會スル旨ヲ宣告ス

議長ハ左ノ詔勅ニ對シ敬禮ノ意ヲ表シテ拜聽スヘキ旨ヲ告ケ之ヲ朗讀ス

在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ク

古者皇祖國ヲ肇ムルノ初ニ當リ六合ヲ兼ヲ八紘ヲ掩フノ詔アリ朕既ニ大權ヲ總攬シ藩邦ノ制ヲ廢シ文武ノ政ヲ革メ又宇內ノ大勢ヲ察シ開國ノ國是ヲ定ム爾來二十有餘年百揆ノ

施設一ニ皆祖宗ノ遠猷ニ率由シ以テ臣民ノ康福ヲ增シ國家ノ隆昌ヲ圖ラムトスルニ外ナラス

朕又議會ヲ開キ公議ヲ盡シ以テ大業ヲ翼贊セシメムコトヲ期シタリ而シテ憲法ノ施行方ニ初歩ニ屬ス始ヲ愼ミ終ヲ克クシ端ヲ今日ニ正シ大成ヲ將來ニ期セサルヘカラス顧ルニ宇內列國ノ進勢ハ日ヲ一日ヨリ急ナリ今ノ時ニ當リ紛爭日ヲ曠クシ遂ニ大計ヲ遺レ以テ國運進張ノ機ヲ誤ルカ如キコトアラハ朕カ祖宗ノ威靈ニ奉對スルノ志ニ非ス又立憲ノ美果ヲ收ムルノ道ニ非サルナリ朕ハ在廷ノ臣僚ニ信任シテ其ノ大事ヲ終始セムコトヲ欲シ又人民ノ選良ニ倚籍シテ朕カ日ダノ憂虞ヲ分ツコトヲ疑ハサルナリ

憲法第六十七條ニ揭ケタル費目ハ既ニ正文ノ保障スル所ニ屬シ今ニ於テ紛議ノ因タルヘカラス但シ朕ハ特ニ閣臣ニ命シ行政各般ノ整理ハ其ノ必要ニ從ヒ徐ロニ審議熟計シテ遺算ナキヲ期シ朕カ裁定ヲ仰カシム

國家軍防ノ事ニ至テハ苟モ一日ヲ緩クスルトキハ或ハ百年ノ悔ヲ遺サム朕茲ニ內廷ノ費ヲ省キ六年ノ間每歲三十萬圓ヲ下付シ又文武ノ官僚ニ命シ特別ノ情狀アル者ヲ除ク外同年月間其ノ俸給十分一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシム」

朕ハ閣臣ト議會トニ倚リ立憲ノ機關トシ其ノ各々權域ヲ愼ミ和協ノ道ニ由リ以テ朕カ大事ヲ輔翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ム

總議員起立シテ敬禮ヲ行フ

議長ハ來ル十三日ヨリ平常ノ如ク會議ヲ開クニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

衆議院議事錄

第四卷　第三十五

議長ハ來ル十三日ノ議事日程ハ後刻郵送スル旨ヲ告ケ散會セシム時ニ午後四時十分ナリ

衆議院議事錄第四卷第三十五

明治二十六年二月十三日(月曜日)

午後一時開場

出席政府委員

渡邊內務次官
田尻大藏次官
兒玉陸軍次官
西村農商務次官
北垣北海道廳長官
野田陸軍監督長
齋藤農商務省商工局長
奈良海軍主計大監

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　政府ヨリ鐵道比較線路決定ニ關スル法律案、鐵道敷設法中改正法律案ヲ提出セラレタリ

一　政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

一　鐵道比較線路決定ニ關スル法律案

一　鐵道敷設法中改正法律案

右二法案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ讀會ノ順序ヲ省略シ且ツ委員ノ審査ヲ經ス議定相成度此段及要求候也

明治二十六年二月

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

衆議院議長星　亨殿

一　貴族院ニ於テハ本院傳達ニ係ル酒精營業稅法案ヲ可決シタル旨貴族院ヨリ通牒アリタリ

一　貴族院ヨリ徴兵令猶豫年限改正法案ヲ提出セラレタリ

一　加藤政之助君ヨリ日露貿易ニ關スル件ニ付政府ニ質問ヲ提出セラレタリ

一　島田三郎君鈴木重遠君河野廣中君ヨリ決議案ヲ、佐々木正藏君厚地政敏君佐藤昌藏君佐々木善右衞門君小坂善之助君青山朗君井上角五郎君ヨリ總豫算修正ヲ整理スルノ緊急動議ヲ、安部井磐根君村松龜一郎君ヨリ明治二十六年度歲計豫算案ヲ再ヒ豫算委員ニ付託スルノ緊急動議ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ山田武甫君ヨリ病氣ノ爲十日間、小林乾一郎君ヨリ病氣ノ爲二週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ

天皇陛下ヨリ賜ハリタル詔勅ニ對シ奉答ヲ爲スニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ奉答文ノ起草ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮ヒ異議ナキニ依リ其ノ起草シタル奉答文案ヲ朗讀スル旨及敬禮ノ意ヲ表シテ拜聽スヘキ旨ヲ告ク

恭シク惟ニ

陛下聖德天覆地載茲ニ優渥ナル　聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ニ堪ヘス臣等謹テ　聖旨ヲ奉體シ和衷協同益心力ヲ盡シ以テ大業補翼ノ任ヲ完クシ以テ

陛下ノ隆恩ニ奉對セントス衆議院議長臣星亨誠恐誠惶謹テ

奏ス

總議員起立シテ敬禮ヲ行フ

議長ハ右ノ奉答文ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

島田三郎君八番ハ緊急問題トシテ左ノ決議案ヲ提出ス

本月十日ノ　詔勅ヲ遵行スルニ付テハ政府ノ意向ヲ確ムルカ爲ニ特別委員九名ヲ選擧スルコト

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

議事日程ヲ變更シテ島田三郎君外二名ノ決議案ヲ會議ニ付スヘシ

可決

議長ハ右決議ニ付政府ノ同意ヲ求ムル旨ヲ告ク

議長ハ政府ノ同意ヲ求メタルニ政府ヨリ同意シタルコトノ回

答アリタル旨ヲ告ク

議長ハ決議案（島田三郎君外二名提出）ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

本案提出議員島田三郎君（百八十八番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

安部井磐根君（六十八番）大岡育造君（八十四番）ハ反對、田中正造君（百四十番）ハ賛成ノ演說ヲナス

議長ハ是ヨリ過刻ノ決議ニ係ル奉答文ヲ捧呈センカ爲參內スル旨ヲ告ケ議長席ヲ副議長ニ讓ル時ニ午後二時二分ナリ

元田肇君（百四十一番）十村松龜一郎君（二百一番）十神鞭知常君（二百四番）ハ決議案ニ反對、中村彌六君（百六十九番）立川雲平君（百九十八番）ハ賛成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ必要ト認ムルヲ以テ衆議院規則第百二十七條ニ依リ記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ告ケ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシ　二百七十九名

出席總員　百四十九名

可トスル者　百三十名

否トスル者

可決

議長ハ只今ノ決議ニ依リ各部ニ於テ特別委員ノ選擧ヲ行フヘキ旨ヲ告ケ暫時休憩セシム時ニ午後二時五十五分ナリ

○

午後四時十五分會議ヲ開ク

議長ハ過刻宮中ニ至リ土方宮內大臣ノ執奏ヲ經テ奉答文ヲ捧呈セリ又同大臣ヨリ本日ノ奉答ハ滿足ニ思召ストノ勅語ヲ傳達セラレタル旨ヲ告ク

總議員起立シテ敬禮ヲ行フ

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

詔勅ヲ遵行スルニ付政府ノ意向ヲ確ムル爲メノ特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

尾崎行雄君
島田三郎君
河島醇君
柴四朗君
山田東次君
河野廣中君
中野武營君
長谷場純孝君
石田貫之助君

議長ハ議事日程ニ掲載シタル取引所法案（政府提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

取引所法案審査特別委員長鹽田奥造君ニ百九番ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

太田實君七十四番ハ左ノ動議ヲ提出ス

引續キ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ第一條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五條第六條第七條ヲ聯貫シテ議題トナス

江原素六君三百八番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第六條中「ノ仲買人及」ノ五字ヲ「ハ」ノ一字ニ改ムヘシ

中野武營君二百九十五番松田源五郎君七百二十八番江原素六君ノ修正動議ニ反對スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ第五條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六條ニ付左ノ表決ヲ取ル

江原素六君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第六條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

江原素六君三百八番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第七條第一項及第二項中「取引所」ノ上ニ「株式會社組織」ノ六字

ヲ加フヘシ

立川雲平君（百九十八番）　野出鍋三郎君（二百九十三番）　江原素六君ノ修正動議ニ賛成、中野武營君（二百五十九番）ハ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ第七條ニ付左ノ表決ヲ取ル

江原素六君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第七條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七條ノ次ニ一條ヲ加フル特別委員ノ修正案ニ付テハ之ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第八條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ時已ニ定刻ニ至リタルヲ以テ延會ヲ命シ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第三十六

明治二十六年二月十四日(火曜日)

午後一時開場

出席政府委員

田尻大藏次官
野田陸軍監督長
齋藤農商務省商工局長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　郡分合ニ關スル關戸覺藏君ノ質問ニ對シ井上內務大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　詔勅ヲ遵行スルニ付政府ノ意向ヲ確ムル爲メノ特別委員長ニ河野廣中君同理事ニ島田三郎君當選セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ篠田政龍君ヨリ病氣ノ爲二週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ商法及商法施行條例中改正竝施行法律案審査特別委員長鳩山和夫君ヨリノ請求ニ基キ本日ヨリ開會中ト雖モ會議ニ列席セサルコトヲ同委員ニ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル取引所法案（政府提出）第二讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ第九條ヲ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第十條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ナシ

異議ナシ

議長ハ第十一條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十二條第十三條第十四條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十五條第十六條ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第十五條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

ノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十六條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十七條ヨリ第二十三條マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十四條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十五條ヲ議題トナス

中澤彦吉君ニ番ハ原案ニ賛成、中野武營君ニ百五十九番ハ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第二十六條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十七條ヨリ第三十條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第二十七條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十八條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモ

ノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十九條第三十條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十一條第三十二條ヲ聯貫シテ議題トナス

太田實君（七十四番）ハ第三十一條ニ付原案ヲ贊成スルノ演說ヲナス」

議長ハ第三十一條第三十二條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十三條ヨリ第三十五條マテヲ聯貫シテ議題トナス

太田實君（七十四番）ハ第三十三條ノ前ニ一條ヲ加フル特別委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ第三十三條ニ付テハ原案ニ第三十三條ノ前ニ一條ヲ加フル特別委員ノ修正案ニ付テハ其ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十四條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十五條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第二讀會ハ玆ニ終結シタル旨ヲ告ク

太田實君（七十四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

鹽田奥造君（二百九番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第十六條末項中「第十條」ノ三字ヲ「第十一條」ノ四字ニ改メ及第十七條中「但」ノ下ニ「シ」ノ一字ヲ加フヘシ

議長ハ鹽田奥造君ノ修正動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ文字ノ整頓又ハ條項ノ轉換ハ之ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第二讀會及第三讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ本案ハ玆ニ確定シタル旨ヲ告ク

議長ハ議事日程ニ掲載シタル集會及政社法改正案（本院提出貴族院回付）

ヲ議事ニ付スル旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

波多野傳三郎君（二百七十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

貴族院修正ノ大體ニ對シ不同意ヲ表スヘシ

野出鍋三郎君（二百九十三番）ハ波多野傳三郎君ノ動議ニ贊成、大坪利晉君（三十四番）ハ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

波多野傳三郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ右決議ノ結果ニ依リ協議會ヲ開クコトヲ要スルヲ以テ

先例ニ依リ委員十名ヲ選擧スヘキ旨ヲ告ク

野出鍋三郎君（二百十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案協議委員ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲナシ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

佐々木正藏君（九十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案協議委員ノ選擧ハ議長ノ指名ニ依ルヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

野出鍋三郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル大垣兵次君ヨリ西山志澄君ノ資格ニ對シ異議ノ申立アルニ付其ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

野出鍋三郎君（二百九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本件ノ資格審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲナシ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

議長ハ野出鍋三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル選擧干渉ニ關スル上奏案ハ提出者ヨリ本日ノ議事ニ付セサルノ要求アリタル旨ヲ告ケ議事日程ニ揭載シタル出版條例改正案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ第一條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第三條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第四條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ各部ニ於テ過刻ノ決議ニ係ル協議委員及特別委員ノ選擧ヲ行フヘキ旨ヲ告ケ暫時休憩セシム時ニ午後二時五十分ナリ

○

午後三時四十五分會議ヲ開ク

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　過刻ノ決議ニ係ル協議委員及特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

集會及政社法改正案協議委員

加藤平四郎君
伊藤大八君
小笠原貞信君
山田泰造君
波多野傳三郎君
丸山名政君
箕浦勝人君
中村彌六君
天埜伊左衞門君
河島醇君

西山志澄君資格審査特別委員

村松龜一郎君

議長ハ出版條例改正案第二讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第七條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

波部芳造君
元田肇君
伊東祐賢君
丸山名政君
高須峯造君
三崎龜之助君
小笠原貞信君
立川雲平君

議長ハ第八條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第九條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十二條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十三條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十四條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異

議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十五條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十六條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十七條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十八條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十九條第二十條第二十一條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第十九條ニ付テハ原案ニ、第二十條第二十一條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十二條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム」

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト

認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十三條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム」

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト

認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十四條第二十五條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十六條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム」

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト

認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十七條第二十八條第二十九條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第三十一條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム」

議長ハ條項ノ轉換アルモ修正決議ノ結果ナルヲ以テ討論表決

ニ付セス原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十二條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム」

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十三條第三十四條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第三十三條ニ付テハ原案ニ、第三十四條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十五條第三十六條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第三十七條第三十八條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第二讀會ハ茲ニ終結シタル旨ヲ告ク

波多野傳三郎君（二百七八番）

左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

議長ハ波多野傳三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

野出鍋三郎君（二百九十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ニ關スル文字ノ整頓ハ議長ノ整理ニ委任スヘシ

議長ハ野出鍋三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ討論ナキヲ認メ第二讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル版權法案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ第一條第二條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四條第五條第六條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第八條第九條第十條ヲ聯貫シテ議題トナス

小西甚之助君（九十三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第九條第二項中「願出ルコトヲ得」ノ七字ヲ「願出ツヘシ」ノ五字ニ改ムヘシ

鵜飼郁次郎君（二百四十六番）ハ小西甚之助君ノ修正動議ニ賛成、伊藤大八君（百三十九番）ハ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ第八條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第九條ニ付左ノ表決ヲ取ル

小西甚之助君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第九條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一條ヨリ第十五條マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ第十一條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第十二條ニ付テハ原案ニ、第十三條第十四條第十五條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十六條ヨリ第二十二條マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ第十六條第十七條ニ付テハ原案ニ、第十八條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第十九條ニ付テハ原案ニ、第二十條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第二十一條第二十二條ニ付テハ原

案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十三條ヨリ第二十五條マテヲ聯貫シテ議題トナス

小西甚之助君（九十三番）ハ第二十五條ニ反對スルノ演說ヲ爲ス

議長ハ第二十三條第二十四條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十五條ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二十六條第二十七條ヲ聯貫シテ議題トナシ第二十六條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第二十七條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十八條第二十九條ヲ聯貫シテ議題トナシ第二十八條ニ付テハ原案ニ、第二十九條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三十條第三十一條第三十二條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ第三十條ニ付テハ原案ニ、第三十一條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第三十二條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第二讀會ハ茲ニ終結シタル旨ヲ告ク

百万梅治君（四十二番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

議長ハ百万梅治君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

渡邊洪基君七十番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第七條第四項中「版權所有主」ノ五字ヲ「版權所有者」ノ三字ニ改ムヘシ

議長ハ渡邊洪基君ノ修正動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ本案ニ關スル文字ノ整頓ハ之ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ハ玆ニ確定シタルモノト認定スル旨ヲ告ク

議長ハ時未タ定刻ニ至ラサルモ定數ニ充タサルヲ以テ本日ハ玆ニ散會スル旨ヲ告ケ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム

時ニ午後五時三十分ナリ

衆議院議事録

第四巻　第三十七

衆議院議事錄第四卷第三十七

明治二十六年二月十五日(水曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

伊藤內閣總理大臣
黑田遞信大臣
井上內務大臣
大山陸軍大臣
後藤農商務大臣
陸奥外務大臣
河野文部大臣
仁禮海軍大臣
渡邊大藏大臣

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　鐵道敷設法ニ關スル波多野傳三郎君外一名ノ質問ニ對シ黒田遞信大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　集會及政社法改正案協議會議長ニ箕浦勝人君同副議長ニ中村彌六君、西山志澄君資格審査特別委員長ニ三崎龜之助君同理事ニ小笠原貞信君當選セラレタリ

一　宮城浩藏君ハ去ル十四日死去ノ旨遺族ヨリ屆出ラレタリ」

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ故議員宮城浩藏君ノ遺族ニ對シテ先例ニ依リ左案ノ弔詞ヲ贈ルニ異議ノ有無ヲ諮フ

衆議院ハ議員宮城浩藏君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス」

異議ナシ

詔勅ヲ遵行スルニ付政府ノ意向ヲ確ムル爲メノ特別委員長河野廣中君二百十八番委員會ノ經過及結果ヲ報告ス

伊藤內閣總理大臣ハ詔勅ニ對スル政府ノ意見ヲ演說ス

井上角五郎君七十八番ハ左ノ動議ヲ提出ス

本員外六名ノ提出ニ係ル總豫算修正ヲ整理スルノ緊急動議

出席政府委員

渡邊內務次官
田尻大藏次官
兒玉陸軍次官
伊藤海軍次官
久保田文部次官
河津遞信次官
野田陸軍監督長
奈良海軍主計大監

ヲ議スル爲議事日程ヲ變更スヘシ

可決

議長ハ左ノ總豫算修正ヲ整理スルノ緊急動議（佐々木正藏君外六名提出）ノ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

本院ハ謹テ　詔勅ヲ奉戴シ叡慮ヲ徹底スル爲メ明治二十六年度ノ歳入歳出總豫算修正案ヲ再議スルヲ要ス依テ豫算委員ニ付託シ二日ヲ期シテ之ヲ整理セシムルコト

本動議提出議員井上角五郎君（七十八番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明シ竝ニ本動議中「二日ヲ期シテ」ノ六字ヲ削ル旨ヲ陳フ

小西甚之助君（九十三番）ハ反對ノ演說ヲナス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル度量衡法追加案（本院提出貴族院回付）ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

今井磯一郎君（百四十二番）ハ本案ヲ贊成スルノ演說ヲナス

議長ハ第一項ニ付テハ貴族院ノ修正ニ同意スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二項ニ付テハ貴族院ノ修正ニ同意スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ニ確定シタル旨ヲ告ク

議長ハ議事日程ニ揭載シタル條約改正上奏案（鈴木昌司君外七名提出）ノ祕密會議ヲ開ク旨ヲ宣告シ傍聽人ノ退場ヲ命ス時ニ午後一時五

十六分ナリ

議長ハ午後五時三十五分ニ至リ祕密會議ヲ閉チ傍聽人ノ入場ヲ許ス

議長ハ時未タ定刻ニ至ラサルモ本日ハ玆ニ散會スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ商法及商法施行條例中改正竝施行法律案審査特別委員宮城浩藏君ハ死去セラレタルヲ以テ其ノ補闕選擧ヲ行ハサルヘカラス同委員ハ議長ノ指名ヲ以テ選擧シタルモノナルカ今又議長ニ於テ之ヲ指名スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ右ノ決議ニ依リ其ノ補闕トシテ伊藤大八君ヲ指名スル旨ヲ告ク

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時三十七分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第三十八

明治二十六年二月十六日(木曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

黑田遞信大臣
渡邊大藏大臣

出席政府委員

田尻大藏次官
兒玉陸軍次官
西村農商務次官
河津遞信次官
松本鐵道廳部長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　政府ヨリ明治二十六年度歳入歳出總豫算修正案ヲ提出セラレタリ

一　貴族院ヨリ左ノ通牒アリタリ

辯護士法案

右貴院ノ修正ヲ經タル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治二十六年二月十五日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

衆議院議長星　亨殿

一　渡邊又三郎君永井松右衞門君曾我部道夫君佐々木政父君黒川修三君前田篤之介君ヨリ田畑地價特別修正ニ關シタル建議案ヲ提出セラレタリ

一　新聞紙條例改正案協議會議長ニ楠本正隆君同副議長ニ中野武營君當選セラレタリ

一　古莊嘉門君嘉悦信之君ハ刑法及民法改正ノ請願ヲ院議ニ付スヘキノ要求者タルヲ取消シタル旨申出ラレタリ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル鐵道敷設法中改正法律案（政府提出緊急事件）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム」

田尻大藏次官ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

鈴木萬次郎君（六十一番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ數ハ十八名トシ各部ニ於テ之ヲ選擧シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

神鞭知常君（二百四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲ爲シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

角田眞平君（百五十八番）ノ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ハ本日ヨリ五日間ヲ期シ特別委員ヲシテ之カ報告ヲナサシムヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ特員委員ニ付託スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ數ハ十八名トスヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　二百四十六名

可トスル者　百五名

否トスル者　百四十一名

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

角田眞平君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル鐵道比較線路決定ニ關スル法律案（政府提出緊急事件）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

河津遞信次官ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

神鞭知常君（二百四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ハ鐵道敷設法中改正法律案審査特別委員ニ付託スヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

神鞭知常君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議員ノ提出ニシテ鐵道ニ關スル法案ハ先例ニ依リ總テ鐵道敷設法中改正法律案、鐵道比較線路決定ニ關スル法律案審査特別委員ニ併セテ付託スル旨ヲ告ク

議長ハ只今ノ決議ニ依リ各部ニ於テ特別委員ノ選擧ヲ行フヘキ旨ヲ告ケ暫時休憩セシム時ニ午後二時四十分ナリ

○

午後三時三十分會議ヲ開ク

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　鐵道敷設法中改正法律案、鐵道比較線路決定ニ關スル法律案審査特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

青山　朗君
内藤利八君
工藤行幹君
鈴木昌司君
木下莊平君
島田三郎君
藥袋義一君
神鞭知常君
立石寛司君

議長ハ議事日程ニ掲載シタル徴兵令猶豫年限改正法案（貴族院提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ議事日程ニ掲載シタル徴兵令猶豫年限改正法案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

高田早苗君（二百九十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ハ議長ノ指名ニ依

ルヘシ

議長ハ高田早苗君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル輸入棉花關稅免除法律案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

輸入棉花關稅免除法律案審査特別委員長江原素六君（三百番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

早川龍介君（十七番）ハ本案ニ反對スルノ演說ヲナス」

水落簡君（百九番）

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　過刻ノ決議ニ係ル徵兵令猶豫年限改正法案審査特別委員ニ左ノ諸君ヲ指名シタリ

長谷川　泰君

植田理太郎君

柴　四朗君

鈴木萬次郎君

柏田盛文君

山口千代作君

三崎龜之助君

鳩山和夫君

大垣兵次君

議長ハ議事日程ニ掲載シタル木曾、澁、利根、信濃四大川ノ治水ニ關スル建議案ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

木曾、澁、利根、信濃四大川ノ治水ニ關スル建議案審査特別委員長

湯本義憲君（二百六十八番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ延會ヲ命シ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時五十五分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第三十九

明治二十六年二月十七日(金曜日)

午後一時開場

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　貴族院ヨリ政府提出砂鑛採取法案ヲ送付セラレタリ

一　折田兼至君中村彌六君ヨリ布哇國移住民ニ關スル件ニ付政府ニ質問ヲ提出セラレタリ

一　丸山名政君江原素六君ヨリ鐵道敷設法改正案ヲ、吉岡倭文麿君渡部芳造君ヨリ鳥取縣下伯耆國境港ニ於テ朝鮮國貿易ニ關スル船舶出入貨物積卸許可法案ヲ提出セラレタリ

一　鐵道敷設法中改正法律案、鐵道比較線路決定ニ關スル法律案審査特別委員長ニ神鞭知常君同理事ニ立石寬司君、

徴兵令猶豫年限改正法案審査特別委員長ニ柏田盛文君
同理事ニ鈴木萬次郎君當選セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

折田兼至君（九十八番）ハ其ノ政府ニ提出シタル布哇國移住民ニ關スル質問ノ趣旨ヲ演説ス

議長ハ議事日程ニ掲載シタル木曾、澁、利根、信濃四大川ノ治水ニ關スル建議案ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

野出鍋三郎君（二百九十三番）ハ先決問題トシテ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員會ノ報告ハ付託外ニ渉レルモノアリ衆議院規則第二十五條ニ違背スルヲ以テ更ニ委員ニ付託シ之ヲ審査セシムヘシ

議長ハ野出鍋三郎君ノ動議ヲ議題トナス旨ヲ宣告ス

角田眞平君（百七番）五十橋本久太郎君（百六十番）小西甚之助君（二九十番）ハ野出鍋三郎君ノ動議ニ反對、立川雲平君（百八十九番）ハ贊成ノ演説ヲナス

議長ハ議員中ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタル者アリタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

野出鍋三郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

加藤喜右衛門君（十三番）ハ其ノ提出ニ係ル修正案ノ趣旨ヲ辯明ス」

工藤行幹君（百九十八番）ハ特別委員ノ修正案ニ反對、井上彦左衛門君（二十八番）ハ贊成ノ演説ヲナス

俣野景孝君（百四十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

加藤喜右衛門君ハ其ノ提出ニ係ル修正案ノ前文ハ特別委員ノ修正案ト其ノ趣旨ヲ同ウスルヲ以テ特ニ討論表決ニ付スルヲ要セサル旨ヲ述フ

議長ハ前文及第一ヨリ第四マテニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第五ヨリ第十一マテニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

議長ハ可決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數

二百三十一名

可トスル者

百二十七名

否トスル者

百四名

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル航路擴張建議案ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

航路擴張建議案審査特別委員長西山志澄君（百十一番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

箕浦勝人君（三番）ハ其ノ提出ニ係ル修正案ノ趣旨ヲ辯明ス

若原觀瑞君（六十四番）ハ本案ヲ贊成スルノ演說ヲナス

議長ハ議員中ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタル者アリタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論ヲ終局スヘシ

可決

鵜飼郁次郎君及小柳卯三郎君ハ各自ノ提出ニ係ル修正案ハ特別委員會ニ於テ其ノ趣旨ヲ採用シタルヲ以テ特ニ討論表決ニ付スルヲ要セサル旨ヲ述フ

議長ハ第四節ニ付左ノ表決ヲ取ル

箕浦勝人君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第五節四行目ニ付左ノ表決ヲ取ル

箕浦勝人君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第五節第二ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第五節第三ニ付左ノ表決ヲ取ル

箕浦勝人君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第五節第四ノ上ニ一項ヲ加フル箕浦勝人君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第五節第五ノ次ニ一項ヲ加フル特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ全體ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正ナキ部分ハ總テ原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ時未タ定刻ニ至ラサルモ本日ハ茲ニ散會スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時四十二分ナリ

衆議院議事錄

第四卷　第四十

明治二十六年二月十八日(土曜日)

午後一時開場

出席政府委員

清浦司法次官

横田司法省民刑局長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　土方宮内大臣ヨリ左ノ通牒アリタリ

昨日被差出候上奏書今朝奉呈致候條此段及通牒候也

明治二十六年二月十八日

宮内大臣子爵土方久元

衆議院議長星　亨殿

一　明治二十四年度豫備金支出ノ件、明治二十四年度ニ於テ

國庫剩餘金ヲ以豫算超過及豫算外支出ノ件、明治二十四年度大阪砲兵工廠豫備費支出ノ件、明治二十四年度ニ於テ中央備荒儲蓄金第一高等中學校用途指定寄附金鹿兒島高等中學造士館特別資金、東京盲啞學校維持資金ヲ以豫算超過若クハ豫算外支出ノ件、東京府及神奈川縣境域變更ニ關スル法律案ヲ政府ヨリ提出セラレタリ

一

柴四朗君福田久松君足立孫六君大岡育造君ヨリ鐵道敷設法改正追加案ヲ、吉岡倭文麿君和田彦次郎君ヨリ鐵道敷設法改正案ヲ、天春文衞君東尾平太郎君立入奇一君加藤六藏君丸尾文六君ヨリ田畑地價特別修正ニ關スル建議案ヲ、江原素六君丸尾文六君田中鳥雄君ヨリ鐵道敷設法改正案ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル商法及商法施行條例中改正竝施行法律案（政府提出貴族院送付）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

商法及商法施行條例中改正竝施行法律案審査特別委員長鳩山和夫君（二百八十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

鳩山和夫君（二百八十三番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

横田司法省民刑局長ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ鳩山和夫君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ第一條第二條第三條ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第一條ニ付テハ原案ニ、第二條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第三條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ別冊第一頁第一項ヨリ第五項マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第一頁第六項ヨリ第五頁第五項マテヲ聯貫シテ議題トナス

渡邊洪基君七十番ハ第一頁第六項ニ付特別委員ノ修正案ニ反對スルノ演說ヲナス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正アル部分ハ其ノ修正案、修正ナキ部分ハ原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第六頁第一項ヨリ第八頁第一項マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第八頁第二項第三項ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第八頁第四項ヨリ第十二頁第三項マテヲ聯貫シテ議題

トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異
議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第十二頁第四項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員
ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第十二頁第五項ヨリ第十五頁第一項マテヲ聯貫シテ議
題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ
異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第十五頁第二項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員
ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ

議長ハ第十六頁第一項ヨリ第三項マテヲ聯貫シテ議題トナシ
討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有
無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第十六頁第四項ヨリ第六項マテヲ聯貫シテ議題トナシ
討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定ス
ルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第十六頁第七項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員
ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第十七頁第一項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ヲ否
決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十七頁第二項第三項ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十七頁第四項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ヲ否決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十七頁第五項第十八頁第一項ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十八頁第二項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十八頁第三項ヨリ第二十頁第二項マデヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十頁第三項ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十一頁第二項第二十二頁第一項ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十二頁第二項ヨリ第二十三頁第二項マデヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

テ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定ス
ルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第二十三頁第三項ヨリ第二十五頁第一項マテヲ聯貫シ
テ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正アル部分ハ其ノ
修正案ニ、修正ナキ部分ハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ
異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
小柳卯三郎君（百七十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス
直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ
議長ハ小柳卯三郎君ノ動議ニ異議ナキヲ認メ本案ノ第三讀會
ヲ開ク旨ヲ宣告ス
石井定彦君（百七十五番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ニ付テノ文字ノ整頓ハ之ヲ議長ニ委任スヘシ
議長ハ石井定彦君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ本案ニ對シ異議ナキヲ認メ其ノ第三讀會ハ玆ニ終結シ
タル旨ヲ宣告ス
柏田盛文君（二百三十三番）ハ左ノ緊急動議ヲ提出ス
本日ヨリ會議時間ヲ延長シテ午後八時マテト爲スヘシ
議長ハ左ノ表決ヲ取ル
議事日程ヲ變更シテ柏田盛文君ノ緊急動議ヲ議題ト爲スヘ
シ
否決
議長ハ議事日程ニ揭載シタル金祿公債證書下附ノ請願ヲ議事
ニ付スル旨ヲ宣告ス

請願委員理事加賀美嘉兵衞君（二百九十一番）ハ委員長ニ代リ金祿公債證書下附ノ請願ニ關シ特別ノ報告ヲナス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本請願ヲ採擇スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル裁判所構成法改正ノ法律案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

裁判所構成法改正ノ法律案審查特別委員長小笠原貞信君（百九十五番）ハ審查ノ經過及結果ヲ報告ス

角田眞平君（百五十七番）丸山名政君（二百七十四番）ハ反對、大岡育造君（八十四番）ハ贊成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル狩獵法案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

狩獵法案審查特別委員長角田眞平君（百五十七番）ハ審查ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

大島信君（六十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第一條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

野出鎗三郎君（二百九十三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第一項中「各種ノ網、放鷹、繩縄又ハ撰」ノ十一字ヲ削リ及第二項ヲ削除スヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

野出鎗三郎君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二條第三條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

折田兼至君（九十番）ハ第三條ニ付原案ヲ贊成スルノ演說ヲナス

議長ハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四條第五條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第四條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第五條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第七條ノ前ニ一條ヲ加フル特別委員ノ

修正案ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

堀部彦次郎君（二百八十七番）ハ原案ヲ賛成スルノ演説ヲナス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第八條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第九條第十條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

由雄與三平君（二百八十五番）ハ第九條ニ付原案ヲ賛成スルノ演説ヲナス

野出鍋三郎君（二百九十三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第十條中「但甲種職獵免狀ヲ有スル者ハ助手トシテ無免狀ノ者三人以下ヲ同伴スルコトヲ得」ノ三十六字ヲ「但甲種免狀ヲ有スル者ハ助手トシテ無免狀ノ者ヲ同伴スルコトヲ得」ノ三十字ニ改ムヘシ

議長ハ第九條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條ニ付左ノ表決ヲ取ル

野出鍋三郎君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第十條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト

認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一條ヨリ第十三條マテヲ聯貫シテ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ第十一條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ、第十二條第十三條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十四條ヨリ第十六條マテヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ第十四條ニ付テハ原案ヲ否決、第十五條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決、第十六條ニ付テハ原案ヲ否決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十七條ヨリ第十九條マテヲ聯貫シテ議題トナシ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ時已ニ定刻ニ迫レルモ本案ヲ議了スルマテ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ第二十條ヲ議題トナシ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

藤野政高君（百十七番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第三讀會ヲ省略シ確定決議ヲナスヘシ

議長ハ文字ノ整頓ハ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

藤野政高君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ本案ハ玆ニ確定シタル旨ヲ告ク

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時五分ナリ

衆議院議事錄

衆議院議事錄第四卷第四十一

明治二十六年二月二十日(月曜日)

午後一時開場

出席政府委員

兒玉陸軍次官

河津遞信次官

松本鐵道廳部長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　取引所稅法案、豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案ヲ政府ヨリ提出セラレタリ

一　齋藤良輔君安部井磐根君村松龜一郎君ヨリ議員ノ歲費ニ關スル法律案ヲ嘉悅信之君曾我部道夫君藤澤幾之輔君元田肇君ヨリ外國ノ畜類傳染病侵入豫防法律案ヲ、齋

藤珪次君立川雲平君田艇吉君高瀬藤次郎君ヨリ鐵道敷設法改正案ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ政府ノ提出ニ係ル明治二十四年度豫備金支出ノ件、明治二十四年度ニ於テ國庫剰餘金ヲ以豫算超過及豫算外支出ノ件、明治二十四年度大阪砲兵工廠豫備費支出ノ件、明治二十四年度ニ於テ中央備荒儲蓄金、第一高等中學校用途指定寄付金、鹿兒島高等中學造士館特別資金、東京盲啞學校維持資金ヲ以豫算超過若クハ豫算外支出ノ件ハ議長ニ於テ緊急事件ト認ムルヲ以テ衆議院規則第八十二條ニ依リ議事日程ヲ變更シテ右議案ヲ會議ニ付シ其ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ明治二十四年度豫備金支出ノ件ヲ會議ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ明治二十四年度豫備金支出ノ件ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ハ議長ニ於テ指名スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ明治二十四年度ニ於テ國庫剰餘金ヲ以豫算超過及豫算外支出ノ件ヲ會議ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ明治二十四年度ニ於テ國庫剰餘金ヲ以豫算超過及豫算外支出ノ件ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ本案ノ審査ハ明治二十四年度豫備金支出ノ件審査特別

委員ニ付託スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ明治二十四年度大阪砲兵工廠豫備費支出ノ件ヲ會議ニ付スル旨ヲ宣告ス
議長ハ明治二十四年度大阪砲兵工廠豫備費支出ノ件ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス
議長ハ本案ノ審査ハ明治二十四年度豫備金支出ノ件審査特別委員ニ付託スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ明治二十四年度ニ於テ中央備荒儲蓄金、第一高等中學校用途指定寄付金、鹿兒島高等中學造士館特別資金、東京盲啞學校維持資金ヲ以豫算超過若クハ豫算外支出ノ件ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ明治二十四年度ニ於テ中央備荒儲蓄金、第一高等中學校用途指定寄付金、鹿兒島高等中學造士館特別資金、東京盲啞學校維持資金ヲ以豫算超過若クハ豫算外支出ノ件ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス
議長ハ本案ノ審査ハ明治二十四年度豫備金支出ノ件審査特別委員ニ付託スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ議事日程ニ揭載シタル徵兵令猶豫年限改正法案（貴族院提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス
徵兵令猶豫年限改正法案審査特別委員長柏田盛文君（二百三番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス
議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル
本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

立入奇一君（二百十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

鈴木萬次郎君（六十一番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第三讀會ヲ省略シテ確定決議ヲナスヘシ

可決

議長ハ本案ハ玆ニ確定シタル旨ヲ告ク

議長ハ議事日程ニ揭載シタル輸入棉花關稅免除法律案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

角利助君（二百九番）ハ原案ニ反對、由雄與三平君（二百八十五番）ハ贊成ノ演說ヲナス

由雄與三平君ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第三讀會ヲ省略シ確定決議ヲナスヘシ

議長ハ議員中ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタル者アリタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論ヲ終局スヘシ

否決

東尾平太郎君（二百七十三番）ハ原案ニ反對スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

由雄與三平君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　百七十四名

可トスル者　八十八名

否トスル者　八十六名

可決

千葉胤昌君（二百十四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

渡部芳造君（百三十一番）ハ本案ニ反對スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシト

議長ハ可決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　二百三名

可トスル者　百七名

否トスル者　九十六名

可決

議長ハ本案ハ玆ニ確定シタル旨ヲ告ク

議長ハ議事日程ニ揭載シタル明治二十三年法律第八十四號改正案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

小西甚之助君（九十三番）ハ丸山名政君（二百七十四番）ハ原案ヲ贊成、高田早苗君（二百九十番）ハ特別委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタリト認メ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

原案ヲ採用スヘシ

可決

折田兼至君（九番）十ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

議長ハ折田兼至君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ本案ニ對シ異議ナキヲ認メ其ノ第三讀會ハ茲ニ終結シタル旨ヲ告ク

議長ハ議事日程ニ掲載シタル豫戒令廢止建議案（長谷場純孝君外四名提出）ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員折田兼至君（九番）十ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

小野隆助君（百一番）ハ本案ニ反對スルノ演說ヲナス

議長ハ議員中ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタル者アリタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル日本銀行ニ關スル建議案（中村彌六君提出）ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員中村彌六君（百六十九番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

議長ハ本案提出議員中村彌六君（百九番）ニ定刻ニ達セルモ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

石田貫之助君（百四番）ハ本案ニ反對スルノ演說ヲナス

水落簡君（百九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ハ日本銀行課稅法案審査特別委員ニ付託スヘシ

波多野傳三郎君（二百七十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ議長ノ指名ニ依ルヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

水落簡君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

波多野傳三郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　百十九名

可トスル者　五十三名

否トスル者　六十五名

可否ノ數ニ加ハラサル者　一名

否決

議長ハ鐵道敷設法中改正法律案審査特別委員ハ本日既ニ其ノ審査ヲ終結シタルモ時間ナキニ付明日ヲ以テ其ノ報告ヲ爲サシムル旨ヲ告ク

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時五

衆議院議事錄

第四卷　第四十二

十二分ナリ